

# 協働のまちづくり説明会記録(新宮地区)

【明日の新宮地区を語る会（主催：新宮地区連合町内会・新宮地区社会教育運営委員会）】

(進行：新宮地区社会教育運営委員会副委員長)

- 1 開 会 八日町前原町内会長
- 2 あいさつ 新宮地区連合町内会長（夕陽ヶ丘町内会長）
- 3 来賓紹介 （進行が来賓及び市関係者を紹介）
- 4 研 修 会 協働のまちづくり説明会

## 《市民活動推進課説明》

### ①地域ですすめるまちづくりについて

（協働のまちづくりについて、自主運営組織のあり方について）

## 《企画課説明》

### ②行政ですすめるまちづくりについて

（市民参加条例（仮称）の制定に向けて）

## 《①②について一括して質疑応答》

- ・今回説明があった件については、どこが窓口になるのか。新たな仕組みについては、いつ頃からスタートすることを想定しているのか。

地域ですすめるまちづくりに関することは市民活動推進課、行政ですすめるまちづくり「市民参加条例」に関することは企画課が窓口となっている。

なお、新たな仕組みづくりに関しては、開始時期が早ければ早い方が良いと考えている。特に支所地域では、平成27年3月末をもって地域審議会や地域振興特別予算という制度が終了するため、平成27年4月から全市統一的なルールのもと実施していきたいと考えている。

- ・地域へ一括してお金をいただけるということはありがたいが、その結果市税の増税や町内会費や社教費が増額になると困る。

地域の金銭的な負担を上げるということは行政としては考えていない。事業の見直しや効果的な事業の実施などにより、少しでも負担が減るのではないかと提案である。

- ・地域への財政的な支援を行うにあたっては、中心部と周辺地域に差が出ないようにしていただきたい。

財政支援については、人口や面積なども踏まえるなど、一定のルールのもと検討していく予定である。

- ・現在、町内会長をやっているが、現在でもかなりの負担である。提案されている新たな組織をつくる場合、さらに負担が増加し誰も役をやらなくなるのではないか。また、事業所などに組織へ入っていただく場合、調整が大変である。

少子高齢化により、現在の仕組みのままでは活動が続かないと考えている。ぜひ地域の中で、持続可能な仕組みづくりについて検討していただきたい。事業所や団体については、その代表者が組織に入るというよりも、実務的な方に参加いただき、協力してもらおうようなイメージである。ただし、その点についても地域で議論いただきたい。

- ・説明を聞いていると、本来行政が行わなければならないことを地域に押し付けているのではないかと感じる。

町内会や地区社教の活動は地域が独自に実施されているものである。そうした取り組みを今後も継続して実施するための仕組みについて今回ご提案させていただいている。

- ・新たな組織について条例で明記しないと活動が担保されないのではないか。市民参加条例の中にそうした条項を設けるべきではないのか。

先に条例で明記してからスタートするのではなく、取り組みを進めていく中でより良い形を模索していき、将来的には成熟した段階で条例化ということも考えられる。なお、市民参加条例は、行政がすすめるまちづくりにおける市民の権利等を明記したものであり、新たな組織を担保するものについては、別の条例を制定する中で検討すべきものであると考える。なお、市民参加条例（仮）のイメージの中で、「市民とは、市内に在住、在勤又は在学する個人のほか、市内に事務所又は事務所を有する個人及び法人、その他の団体」と定義しており、新たな組織についてもその部分に該当すると考えている。お示ししたものは、現段階の案であるため、いただいたご意見も参考にしながら今後検討していきたい。

- ・組織が大きくなればなるほど、様々な調整が必要となり大変である。現在の各団体へ補助していただく手法が良いのではないかと考える。行政には、松本市で制定されているような町内会加入を義務づける条例等について検討するなど、町内会をバックアップしてほしい。

最初は緩やかに連携する協議会のような組織として、地域のペースで議論していた

だきたい。町内会加入を促進するような条例については、研究させていただく。

- ・頑張っている地域には、多くのお金を配分するなど、地域の実情に応じた財政支援をお願いしたい。

ご意見を伺いながら、制度設計を行っていきたいと考えている。

- ・平成27年4月まではあと1年半しかなく、準備期間がない。新宮地区では町内会と社教の連携が非常にスムーズであり、現状では新たな組織の必要性は感じていない。また、事務局を新たに設置するにしても備品の整備などに多額の費用が必要となる。

事務局体制については、少しずつ積み上げながら構築していくべきであると考えている。

## 5 閉 会 (進行)